



奨学生交流会レポート —CTC 未来財団—

2024年11月30日(土)

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社/神谷町オフィスで2024年度 2回目の交流会を開催しました。32名の奨学生と3名の卒業生が参加しました。

交流会は4部構成

第1部:代表理事挨拶、財団紹介

第2部:奨学生他己紹介

第3部:ご講演

「シリコンバレーとCTC」

第4部:ご講演

「誰かの視点に立ち、行動する人になる」

【2024年12月5日発行】

公益財団法人 CTC 未来財団

東京都港区虎ノ門 4-1-1

神谷町トラストタワー9階

office@mirai-zaidan.or.jp

TEL:03-6450-1540

CTC未来財団

第1部:代表理事挨拶、財団紹介

大塚代表理事の「交流会を繋がり場としていきましょう！」との挨拶から交流会がスタート。第1部では挨拶の他、財団の事業活動や事務局のメンバー紹介を行いました。



第2部:「奨学生他己紹介」

財団の交流会では恒例となった奨学生と卒業生による「他己紹介」。学生や卒業生同士の交流の場として今回も盛り上がりました。

今回の他己紹介のテーマは「今、共有したいこと」。交流会参加者に共有したいことを奨学生同士がインタビューを行い持ち時間 一人1分で紹介しあいました。

大学で学んでいることから、ライブに行くこと、将棋にハマっている、ギター演奏と言った趣味の話など様々な話題が共有されました。他己紹介の後は、交流会に参加した卒業生から現役奨学生へのメッセージを発表してもらいました。連絡先を交換する学生たちの姿も見られました。



第3部講演

「シリコンバレーと CTC」

ITOCHU Techno-Solutions
America. Inc.

President & CEO 田中 匡憲様



第3部講演「シリコンバレーと CTC」

ITOCHU Techno-Solutions America. Inc.

President & CEO 田中 匡憲様

世界的な IT 産業の中心であるシリコンバレー。最新の IT が日々の生活の中にいち早く取り込まれていくシリコンバレーの「今」を語っていただきました。シリコンバレーでは大学発のスタートアップも多く、学生が実体験で技術を身に着けているという話に奨学生は熱心に耳を傾けていました。

QA コーナーでは、「生成 AI が進歩しているがプログラミングを学ぶ必要性は?」「日本に生成 AI が浸透するのは、どれくらいかかるのか?」「ニューラルネットワーク以外の最近の論文に出ている技術は企業で取り入れられるのか?」などの質問が奨学生から寄せられました。

田中さんからは「失敗を恐れない起業家精神を育むのがシリコンバレーです。イノベティブな発想を大事にして英語やグローバルスタンダード対応の重要性を認識して頑張ってください!」と奨学生にエールが送られました。



第4部講演

「誰かの視点に立ち、行動する人になる」

CTC 未来財団理事、カウンセラー
岸田 ひろ実様



第4部講演「誰かの視点に立ち、行動する人になる」

CTC 未来財団理事、カウンセラー

岸田 ひろ実様

車いすユーザーのご自身とご家族の出来事を交えながら、他の人と違うことを恐れなくてよいことや自分や自分とは違う誰かのことを思いやり適切な理解のもと行動する「ユニバーサルマナー」についてご講演いただきました。海外の事例を交えながら、今、私たちに求められていることは、ハード(環境・設備)は変えられなくても、ソフト(配慮・体制)は今からすぐに変えられるという話に奨学生は熱心に聞き入っていました。

講演後は、岸田さんを囲んで大学で専攻している学問に関連づけた質問をする学生の姿が見られました。

